

能登半島地震

被災地支援活動報告

四万十市国保西土佐診療所
管理栄養士 篠田 知佐



日本栄養士会災害支援チーム

(The Japan Association-Disaster Assistance Team : JDA-DAT)

日本栄養士会は、東日本大震災をきっかけに「日本栄養士会災害支援チーム(JDA-DAT)」を発足し、災害発生時に被災地内の医療・福祉・行政機関等と協力して緊急栄養補給物資の支援や避難所等における巡回栄養相談など、フェーズや被災者の特性に応じた幅広い活動を行なっている

<主な活動内容>

- ★ 特殊栄養食品ステーションの設置・運営
- ★ 被災自治体栄養士と連携した避難所巡回
- ★ 要配慮者への代替食品の手配
- ★ 在宅避難者への訪問
- ★ 避難所内で食の要支援者の有無を調査



支援活動までの流れ

- 1/1 能登半島地震発生
- 1/2 日本栄養士会が災害対策本部を設置
- 1/4 厚生労働省から日本栄養士会に栄養・食生活の
支援協力依頼
- 1/6 東海北陸地方栄養士会に派遣要請
- 2/2 日本栄養士会から全都道府県栄養士会に派遣要請
- 2/6 高知県栄養士会より支援協力可能な9名がDIMSに
可能な日程を入力
- 2/16 高知県栄養士会より、4名（2チーム）の派遣が決定
 - * 活動期間:2/27～3/2（佐々木・篠田チーム）
 - * 活動期間:3/8～12（島田・廣内チーム）
 - * 活動日3日・移動日2日
- 3/20 JDA-DAT支援活動終了
- 3/31 日本栄養士会災害対策本部解散



道路の被害状況

撮影日：2/28～3/1
撮影地：珠洲市・穴水町



- ★亀裂や陥没している箇所が多数あり・・・
- ★補修された道路や迂回路を通ることはできたが、デコボコしているためスピードはだせない・・・
- ★歩道は注意しながら歩くことは可能だが自転車での走行は困難な箇所が多かった・・・

建物の 被害状況

撮影日：2/28～3/1
撮影地：珠洲市・穴水町



避難所避難者への 栄養食生活支援

★珠洲市

すでに要配慮者はピックアップされており、継続で支援が必要な要支援者や新たに支援が必要な避難者の訪問活動を行なった

★穴水町

要配慮者をピックアップするためできるだけ多くの避難所を巡回した



珠洲市 避難所(塩津上野集会所)



珠洲市 避難所(直小学校)



穴水町 避難所(穴水中学校体育館)



穴水町 避難所(上中集会所)

在宅避難者への 栄養食生活支援

- ★訪問目的
生活状況の確認
- ★従事者
熊本県保健チーム管理栄養士：1名
JDA-DAT：3名
- ★現在の食事状況
食事摂取量低下（脳梗塞後遺症あり）
- ★要望
少量で食べやすい栄養補助食品の要望あり
- ★訪問時間
11:15～11:50



在宅要支援者宅訪問（珠洲市内）

<自宅の状況>

- ・断水
- ・トイレは流せないため凝固剤を使用
- ・室内の障子や扉は家の傾きにより開閉できない状態

今後の課題

道路の寸断・・・
孤立・・・
支援がこない・・・

<自助>

1. 食べ慣れたものをローリングストック法を用いて備蓄しておくことが必要
2. 水はできるだけ多く確保しておく
3. あらゆる場面を想定し、家、職場、車内、バック内などに備蓄品をセットしておく
4. 簡易トイレや凝固剤の準備をしておく

<公助>

1. 自治体の備蓄
2. 支援力・受援力の向上

<JDA-DAT>

災害研修等を通じてスキルアップを図る



★ 珠洲市市民ふれあいの里健康管理センターの駐車場内に設置されていた兵庫県南あわじ市の「トイレカー」

★ 「トイレカー」の存在は支援者にとってもありがたかった



★ トイレカーの中は水洗トイレが設置

断水 下水道使用不可

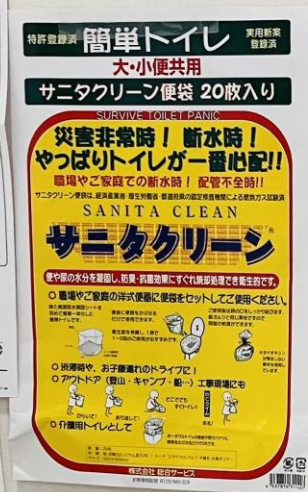
- * 珠洲市市民ふれあいの里健康管理センター内のトイレは使用不可
- * トイレ使用時は、黒ゴミ袋と凝固剤を使用
- * 手洗いはタンクの水を使用



手洗い場



珠洲市市民ふれあいの里健康管理センター内のトイレ



トイレ物品は階下にあります。
必要分をFからもってきて
補充してください。
物資支援担当

トイレをご使用の際は、
凝固剤（ねこの砂）、ゴミ袋を
一つずつ取って使用してください。

